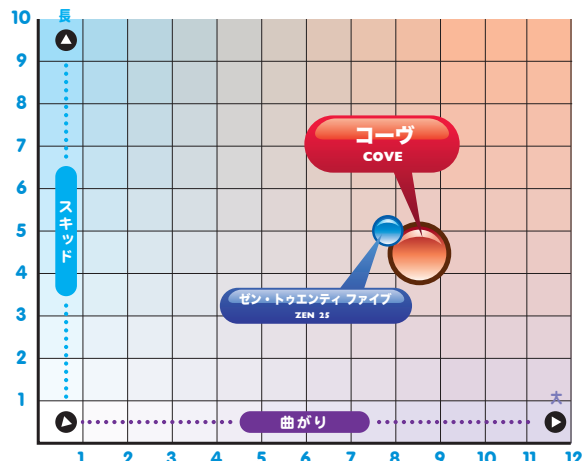
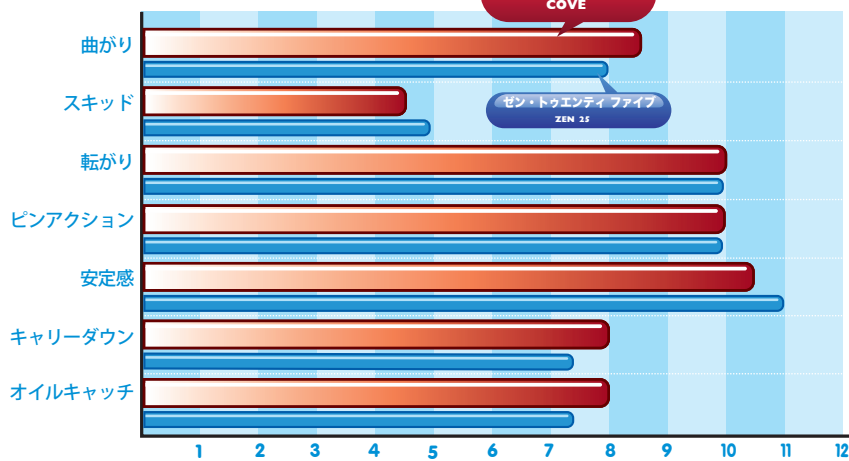
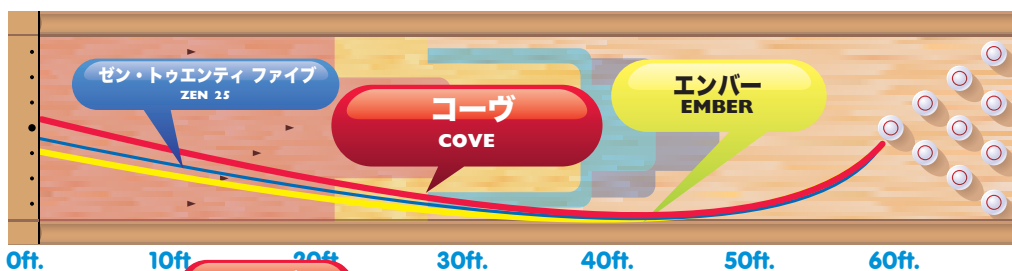
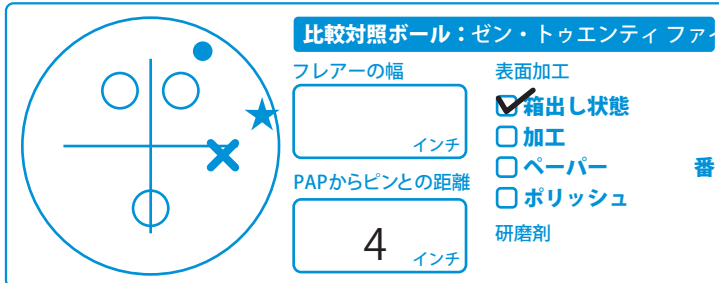
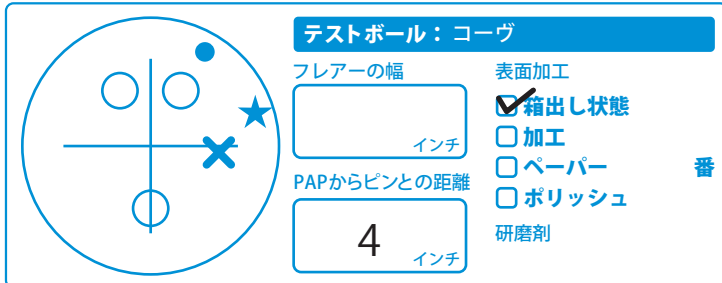


ボールの特性レポート BALL REPORT

ABS

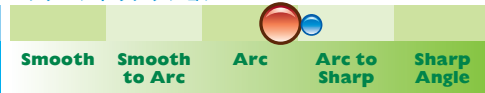
ボール名	コーヴ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.044	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	



レーンコンディション



バックエンドリアクション



レンジ



ボール の評価

900GLOBALが新たに投入した「COVE」は、前作「ORIGIN」と同じ800シリーズに属しながらも、その特性は一線を画す仕上がりとなっています。カバーストックには「RB 85ハイブリッド」を採用。これはソリッドの安定性とパールの走りを融合させた設計で、レーン手前のキャッチを確保しつつ、中盤からピン前までのつながりが極めてスムーズです。前作ORIGINのソリッド系特有の“グリップの強さから一気に反応する”動きに対し、COVEは“切れすぎない持続的な動き”でラインを維持しやすく、操作性が大きく向上しています。

注目すべきは、新開発されたシンメトリック形状の「Magna A.I.コア」です。独自の二重半球構造により、RG値を安定させながらも転がり出しを早め、全体にわたって“連続的”な軌道を描きます。特にミディアム～ミディアムヘビーコンディションでは、フレーム単位での変化に対し柔軟に対応してくれる印象で、投げ手にとって極めて「信頼しやすい」ボールです。

ORIGINと比較した際の明確な違いは、“動きのつながり”です。ORIGINが持つパワフルな奥のキレと瞬発力が魅力である一方、COVEは手前から奥までの動きがとにかく自然でなめらか。その分、ライン取りの微調整が効きやすく、「投げた通りの反応」を得たいときに真価を発揮します。

同時発売する「EMBER」とは同じMagna A.I.コアを搭載しながらも、こちらは異なるカバーストックによって“より鋭さ”を重視した構成。COVEとの併用によって、ミディアム帯のコンディションをフレキシブルに対応できるラインナップ構成が完成します。

特記事項

総じてCOVEは、“扱いやすさ”と“持続性”を重視したボウラー向けの万能型ハイブリッドモデル。特にレーンの変化に繊細に反応しつつも暴れすぎないため、試合中のコンディション変化に悩まされる場面、確かな武器になる存在です。